

先進事例

全国中央会では、中小企業や中小企業組合関係者が、新たな共同事業の実施や組織体制の見直し等を行う際の参考になるよう、都道府県中央会と連携し、毎年テーマを決めて共同事業等に先進的に取り組んでいる組合事例を収集している。昭和57年度より事業がスタートし、これまでに収録した組合事例は6,000組合を超えています。

毎年、詳細な調査・分析を行い、これをもとに組合事例のエッセンスを取りまとめ、報告書（先進組合事例抄録）及びホームページで公開しています。

【組合間連携】

企業組合でる・そーれ

— 女性メンバーの笑顔が輝くコミュニティカフェへようこそ —

「地域のヒト・モノ・コトをつなぐ、温かく、明るく、おいしい!」という女性ならではのコンセプトのコミュニティカフェ「でる・そーれ」。

住 所	(〒037-0063) 青森県五所川原市大町39		
電 話 番 号	0173-34-3971	U R L	http://www.delsole-aomori.jp/
設 立	平成22年8月	F A X 番 号	0173-34-3971
組 織 形 態	分散型企業組合	出 資 金	1,000千円
主 な 業 種	飲食業、菓子製造業、地域限定旅行業	地 区	—
組合専従者	5人（うち専従理事4人）	組 合 員	7人

■背景と目的

当組合は津軽半島、世界自然遺産白神山地を擁する青森県西海岸地方への観光拠点にある五所川原市に位置する。空洞化が進展している中心市街地にある津軽鉄道・五所川原駅前の空き店舗を自分達の手で活用できないかとの思いから、後に組合設立の中心メンバーとなる女性3人が津軽鉄道株式会社・津軽鉄道サポーターズクラブの協力を得て、「地域のヒト・モノ・コトをつなぐ、温かくて、明るくて、おいしいカフェ」というコンセプトのもと、コミュニティカフェ「でる・そーれ」（イタリア語で「太陽のように」という意味）を平成21年4月にオープンした。その後、県中央会主催の講習会において企業組合制度を知り、平成22年8月に5人のメンバーで企業組合が設立された。

■事業・活動の内容

カフェ事業を核として「人の交流」、「地域物産品の開発」、「観光情報の発信」という事業領域を持ち、地域食材を活用した「津鉄汁」や「青森シャモロックとまとシチュー」、ストーブ列車でおなじみの石炭をイメージした「ストーブ列車石炭クッキー」、五所川原市の特産品である「中まで赤〜いりんご」を活用したジュース等の商品開発のほか、地域限定旅行業の登録をしたことで、「津軽半島おもてなしツアー」を企画・開催するなど各種取り組みを行っている。このように、地域住民に愛され、観光客にも奥津軽を身近に感じていただく場所を目指し、地域活性化に係る各種活動を積極的に行っている。

■成 果

カフェの運営、地域資源を活用した商品開発、旅行業というように、組合設立以降、次々と活動領域を広げてきた。これに伴い、組合員各々が新たな役割を担い、新しい能力を発揮することが求められた。このチャレンジを乗り越えてきたことにより、組合員の個々の能力が開花し、相互の絆がさらに深まった。その結果、店づくり、商品開発、人材育成等の多様なノウハウが組合に蓄積された。組合のこれまでの活動は地域を越えて知れ渡っており、組合に対して数多く講演依頼が来るようになるなど、活躍の機会が増えてきている。これらの成果により、組合員の仕事に対するやりがいや自覚も高まるという好循環に繋がり、今後の組合事業が一層充実したものになることが期待されている。



津軽半島おもてなしツアー組



組合メンバー